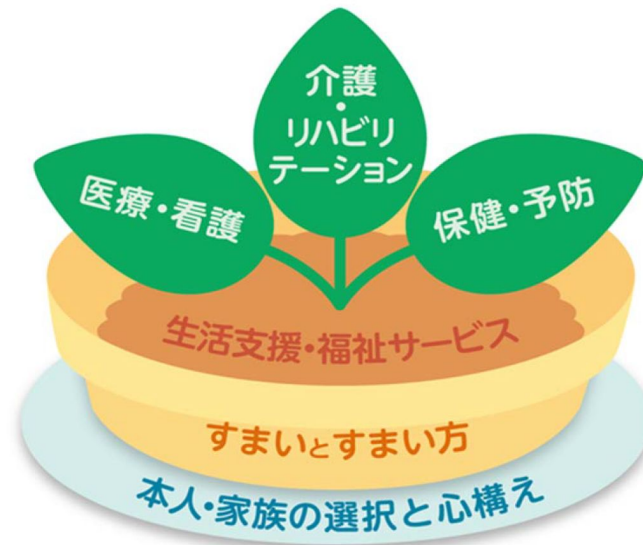


第11回 地域包括ケアシステムと介護保険事業計画（6）



シンボルマーク（厚労省HPから）
システムを構成する「介護・医療・予防・住まい・生活支援」の5つの要素を表します。

地域包括ケア計画

第5期介護保険事業計画（平成24～26年度）
できる限り住み慣れた地域で、人生の最期まで威厳をもって
自分らしい生活を送ることができる社会の実現を目指して

地域包括ケアシステム構築の取組みがスタート



第6期介護保険事業計画（平成27～29年度）＝地域包括ケア計画
第6期以降の計画は、平成37年（2025）に向け
在宅医療介護等連携等の取組みを本格化していく

平成37年（2025）を見据えた介護保険事業計画

第6期計画
平成27～29

第7期計画
平成30～32

第8期計画
平成33～35

第9期計画
平成36～38

ゴールは平成37年
団塊の世代が75歳に

介護保険事業計画の構造

(総論部分：飯綱町の例)

《基本理念》

年齢、性別、経済力、障がいの有無などを理由に住みなれた地域社会から疎外されることなく、誰もが心豊かに安心して幸せに暮らすことができる地域社会を築きます

【5つの政策目標】

- (1) お互いを尊重し合える地域づくり
- (2) 活力ある高齢社会の実現
- (3) 在宅生活の総合支援
- (4) とともに生きるまちづくり
- (5) 町民の幅広い参加と民間活力の活用

【7つの重点施策】

- (1) 地域支援体制の構築
- (2) 介護予防施策の推進
- (3) 認知症高齢者施策の推進
- (4) 高齢者の社会参加の促進
- (5) 自立して生活するには不安がある高齢者への支援
- (6) サービス基盤の整備とサービスの質の確保
- (7) 高齢者自身による選択と総合的なサービスの提供

- 介護保険認定率：17.1%
長野市19.4%、須坂市13.8%、
小布施町13.7%
- 月額基準介護保険料：4,850円
長野市5,490円、須坂市4,768円、
小布施町4,780円、全国平均5,514円

飯綱町の人口減少に歯止め？

2010年～2015年：年間約160人ずつ人口減少（2016年10月1日：10,895人）していた飯綱町の人口が、2016年後半から急速に改善

2016年7月：+6人（自然増△8人、社会増+14人）
2016年8月：+10人（自然増△7人、社会増+17人）
2016年9月：△6人（自然増△9人、社会増+3人）
2016年10月：△13人（自然増△6人、社会増△7人）
2016年11月：+2人（自然増△11人、社会増+13人）
2016年12月：△16人（自然増△10人、社会増△6人）

前年同期△106人（自然増△75人、社会増△31人）だったところ
昨年後半△17人（自然増△51人、社会増+34人）と89人改善
〉〉 社会増が貢献 〈〈

2015年度～2016年度：北しなの線牟礼駅の乗車人数が5%増加（町創設以来初）

長野駅5,141→4,859（△5.5%）	北長野駅2,324→2,216（△4.6%）
三才駅1,569→1,475（△6.0%）	豊野駅2,304→2,136（△7.3%）
牟礼駅735→772（+5.0%）	古間駅149→148（△0.7%）
黒姫駅308→293（△4.9%）	妙高高原駅300→263（△12.3%）

（4月～12月の北しなの線1日平均乗車人数）

人口減少対策の取り組み

地域の人口減少は地域包括ケアシステムの必要の大前提。一方、地方創生は、この人口減少克服（ゆるやかに人口減させる）が主目的

